



岩津高校調理国際科だより

令和8年度
第 1 号

令和8年度が始まりました。新入生も入学し、清新な調理国際科の様子を今年度もお届けします。

4月10日(金)1年生が初めてコックコートに袖を通しました

初回の調理実習はコックコートを着る練習から始まります。のりの効いたコックコートはまだ体になじまず、生徒の様子もどこかぎこちないものです。しかし、これから技術を磨く中で、自信に満ちた姿へと成長していくことでしょう。

来週から始まる調理実習に向けて、いよいよ調理国際科での授業の始まることを、期待と少しの不安を入り交ぜながら実感しているようでした。



↑作業がしやすくなるように袖を折り曲げます



↑緊張した様子で実習の説明を聞いています

4月16日(木)新入生歓迎会食会が行われました

調理国際科3年生が新入生の入学を祝い、食事会を開きました。3年生がこれまでに学んだ料理を献立にしたお弁当で1年生を迎え、これからの学びを思い描きながら味わってもらいました。

また、3年生にとっては「総合調理実習」の授業で初めてお客様に料理を提供する機会となりました。入学当初の気持ちを思い出しながら、残り1年の目標を改めて考える時間となったようでした。



↑新入生歓迎弁当



4月16日(木)調理国際科学科集会を開催しました

同日、調理国際科の全生徒が集まる学科集会が行われました。先生方からは、恵まれた環境への感謝の気持ちを忘れずに驕らず本気で取り組んで欲しいことや、「桜梅桃李」の言葉をもとに、他人と比べるのではなく自分の個性を生かさないというお話をいただき、生徒たちは真剣な表情で耳を傾けていました。また、科主催の「春・咲くらんちコンテスト2026」の優秀者発表がありました。



今年「さくら巡り🌸おにぎり弁当を持って出かけよう」をテーマに、桜の名所巡りをしながら食べられるおにぎり弁当を募集しました。春の食材や彩りを生かした見た目も味も春を感じられるお弁当を発表し、表彰しました。

